

「家庭ごみ有料化制度（見直し素案）」についての
パブリックコメント（市民意見公募制度）結果

（1）募集期間 令和2年9月4日（金）～10月5日（月）

（2）意見提出数 2件（2人）
 ・電子申請：1件
 ・郵送 ：1件

家庭ごみ有料化制度（見直し素案）に関する意見

（１）分別に関すること

	意見	市の考え方
1	<p>分別による手間は大変で、分けるスペースや時間が大変負担に思います。</p> <p>例えば、廃プラスチックなど分ける場合、それを洗う水や時間的コストなど大きな視点で見た場合、省エネルギーに貢献しているとは思えません。</p> <p>ペットボトルなども外側のラベルを剥ぐなどというのは大変な手間でもあります。しかも、ペットボトル、廃プラスチック、ビン類などは再利用するにはコストが見合わないと聞きました。紙類なども分別しすぎるため燃えるごみが燃えなくて余分の燃料がいる本末転倒になっているのではないかと思います。</p> <p>他の県では分別に緩やかな方法をとっているところもあります。市民としては、もう少し分別に関して負担を減らす方法を考えていただきたいと思います。</p>	<p>本市では、家庭ごみを細かく分別して排出していただいておりますが、ごみの減量とリサイクルが進むことで、ごみの焼却時における燃料等のごみ処理経費が抑制できるとともに、資源物の回収による収入を得ることができます。</p> <p>なお、適正なリサイクルのためには、定められた基準に沿った分別が必要となりますが、「汚れが落ちにくい資源プラ」は「燃やせるごみ」とするなど、負担となりすぎない分別区分にするとともに、ごみの分別についてわかりやすくまとめた「家庭ごみ分別事典」の全戸配布等を行っています。</p> <p>ごみの減量とリサイクルの推進のため、引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。</p>

（２）ごみ出し支援に関すること

	意見	市の考え方
1	<p>高齢者世帯等に対するごみ出し支援については、意義のあることだと思うので、実現に向けて取組を進めてほしい。</p> <p>ただし、制度を利用しない人や利用できない人との不公平感が生まれないように、対象者の選び方や支援の方法、支援するためにかかる費用（どれだけの費用をかけるか）について、十分に検討してほしい。</p>	<p>高齢化が進む中、今後、ごみ出し支援に対するニーズが高まってくることが予想されるため、実態把握に努めるとともに、実施する場合の制度内容や収集体制の構築に向けての課題の整理を行うこととしています。</p>